

3月定例会

— 議案審議の状況 —

平成25年第1回定例会は、2月27日から23日間の会期で開かれました。一般会計補正予算(第5号)を初め、議案40件(議員提出議案5件含む)、報告1件、人事案件6件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

平成25年第1回定例会の開会に当たり、小山田市長が市政運営の基本方針と所信の表明をしました。(以下は抜粋及び要約して記載しています)

今後の市政運営に当たっては、市民目線による「信頼される政治姿勢」を基本とし

- ① 元気な未来にむけて、市民が豊かさを実感し活躍できるまちづくり
- ② 希望のある未来にむけて、子どもや孫が故郷に住みたいと思えるまちづくり
- ③ 安心な未来にむけて、みんなが安心して暮らせるまちづくりという、3つのまちづくりの視点を大切にしながら市民の皆様とともに「元気な十和田市づくり」にまい進していく。

平成25年度の主要施策

上十三・十和田湖広域定住自立圏による取り組みの推進、北海道・東北B-1グランプリ in 十和田の開催、(仮称)市民交流プラザ及び(仮称)教育プラザの建設着手、中央病院の産科再開に向けての取り組み、保育所整備の支援防災体制の強化や自主防災組織の充実、環境に配慮した自立・分散型のエネルギーシステムの構築など

平成24年度十和田市一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ3億8,906万2,000円を追加し、それぞれの総額は301億9,950万3,000円となる。

歳出の主な事業は、県営農道整備事業負担金、新渡戸記念館前参道整備事業、市道維持補修・整備事業等、アートファニチャー整備事業、全国瞬時警報システム情報自動配信整備事業、学校施設耐震改修事業、寄付金の受入れなど。

主な質疑

Q 市街地歩行者サイン整備事業の内容と、現代アートの雰囲気損なわないための対策は。

A この事業は歩行者の利便性向上と中心市街地内の回遊を促すため、現代美術館等に総合案内板を設置するものです。設置する際は美術館等の景観に合うよう、デザインや設置場所について検討します。

その他可決した主な議案

- ◇核燃料物質等取扱税交付金事業基金条例の制定
- ◇子ども・子育て支援会議条例の制定
- ◇老人ホーム入所判定委員会条例の制定
- ◇新型インフルエンザ等対策本部条例の制定
- ◇奨学金貸与条例の一部改正(大学生に対する貸与金額の上限額を引き上げるためのものなど)
- ◇子ども医療費給付条例の一部改正(中学生の入院費用まで給付を拡大するためのもの)
- ◇十和田市教育委員会委員の任命(小野寺功氏を引き続き任命)
- ◇十和田市監査委員の選任(高野洋三氏を引き続き選任)
- ◇人権擁護委員の候補者の推薦(柳澤博子氏を引き続き推薦、新たに太田毅氏、菊池佳子氏を推薦)
- ◇十和田市副市長の選任(西村雅博氏を選任)